ひろば　論評　発言

学校名に思う 強い優生思想

川根町・荒波　力（作家　56歳）

二日付朝刊に「ろう学校の名称残して」の記事があった。県内のろう学校の名称を「視聴特別支援学校」に変更することに反対する県立静岡ろう学校の生徒や卒業生たちが、反対署名を始めたという。

私が顔面まひになり、顔の石半分がゆがんでしまったのは十二年前のことである。強い衝撃を受け、いつしか私は自殺を考えるようになっていた。このころ私は、この社会は健常者中心であることに初めて気が付いた。

その後、私はハンセン病の歌人・明石海人の生涯をたどる旅に出て救われたが、その旅の途中で見えて来たのは、自分の中の優生思想であった。五体満足でなければ生きる価値がない、という考えが自分の中にあり、この考えが私自身を苦しめていた。

今回、私が新学校名を見て感じるのは、強い優生思想である。「特別支援」とは、健常者の側から見た発想である。あまりにも恩きせがましい校名ではないか。ここ何年かバリアフリーが叫ばれているが、この校名の命名者や推進者の心に大きなバリアの存在を感じるのは、私だけだろうか。

心のこもった 介護員に感謝

浜松市天竜区　西尾　安夫（無職　68歳）

母は九十二歳、連れ添いを亡くして十六年、今、介護保険要介護2の認定を受けています。昨年の二月から訪問介護のお世話になり、当初は週一回でしたが、今は一日二回、週六日訪問を受けています。心のこもった手厚い援助を頂きながら、今日まで何とか住み慣れた自宅で過ごすことができました。

残念なことに、一年余お世話になった訪問介護事業所が「経営上の理由」で閉鎖することになり、別の事業所に変更することになりました。

この間、こんな感動的なことがありました。一時間の訪問で、訪問時には無表情に近い状態の母が、ヘルパーさんの優しさいっぱいの対応・声掛けにより別人のように目を輝かせ、時には冗談を口にするほど生き生きしてくるのです。また、息子の私の知らない、母の子どものころの様子や、子育て中の思い出などをヘルパーさんから聞かされ、母とヘルパーさんとの心の通い合いの深さをあらためて知り、驚きとともに感銘を受けています。

このような素晴らしいヘルパーさんが十人もおられる事業所が閉鎖に追い込まれたこと、本当に残念でなりません。おのおのの方が新しい場で力を発揮されますよう願ってやみません。本当にありがとうございました。

守り続けたい 農産物の恵み

浜松市南区　斉田きみ江（農業　67歳）

農家に嫁いで四十六年、当時、農産物を運ぶ手段は荷車（リヤカー）でした。荷車に先が見えないくらい積み上げた稲を二人がかりで歩いて運びました。かまどの火もいつしか消え、電気釜に代わっています。空気も汚染され、酸素も薄らいでいることを知りました。水の汚れもしかり、わが家も水を持ち運んでいます。

この目まぐるしく変わる今の生活環境の中で、少しも変わっていないものを知りました。それは農産物です。大切な農地があらゆる野菜を生み出してくれるのが自然とのなく守りのでは」と思います。

「官僚政治」と米従属克服を

静岡市駿河区　藤原　竜（塾講師　26歳）

単刀直入に言って、今後の本邦が克服すべき課題は、対内的には官僚政治であり、対外的には米国従属であろうと思われる。いずれも、戦後日本の枢軸的役割を果たしたシステムではあるが、昨今そのほころび具合が折に触れ目立つようになってきたというのが、我人

の恵みが
ある農地
守り
自然との
のでは」
ます。

いるのだ
財政の
なのは世
ころであ
投じた、
徴的存在
守るべき
財産を足
句、惰報
益維持に
で老若男
命線とも
祉が仮借
目に遭う
服できか
事態とい
い。

ショット

「仏陀」
＝タイ・アユタヤ＝
川口　侑子（静岡市）

10代 Re: 社会

島田市・芝田　美帆（高校生　16歳）

私の祖父が天国へ旅立って一年を迎えようとしている。私が祖父の死を知ったとき、なんとも言えない悲しみを知った。ドラマや映画で何度も人の死に直面する場面を見てきたが、実際に人の死に直面してみると、自

祖父の死で知る「生きる」大切さ

ことは祖父の小学校時代の友達がたくさん来ていたことだ。祖父は昔の友人との関係もずっと大切にしていたのだろう。祖父が亡くなってから、私が知らない祖父の一面を知った。祖父といても気がつくことはなかったが、祖父が亡くなってから知るとこんなにむなしいものだと心から思った。生きていればいることが当たり前だし、人がいなくなってからしか分からないのだろう。でも、そういうことを普段の生活の時から心の片隅に置いておけたら、人間はもっと人を大切にし、命を大切にするのだろう。

自殺者三万人時代と呼ばれる時代に突入した。祖父は自分の命をもって、これから生き続ける私たちに命の大切さを教えてくれた。学校では命の大切さや尊さというものを学ぶが、本当に机の上で学ぶことができるのだろうか。